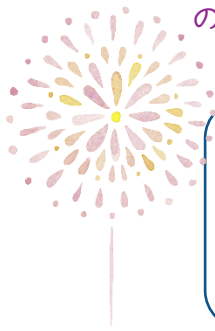


のののはなだより

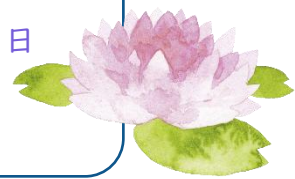
2025 年 8 月

のののはな保育園・のののはな保育園そら 075-354-6927



8 月の予定

15（金）・16 日（土） 家庭保育協力日
26 日（火） 身体測定・避難訓練
27 日（水） お誕生会



暑い中つどいにご参加ありがとうございます

夏のつどいには、暑い中たくさんの皆様にお越しいただき、誠にありがとうございました。子どもたちにとっては、いつもと違う場所や顔ぶれに緊張もあったかと思いますが、ご家族の皆様が積極的にご協力くださったおかげで、安心して楽しめたように感じました。お家での様子とは異なる表情や、成長した様子に気づいていただけたら、他の保護者の皆様と交流する機会になっていれば幸いです。のののはな保育園の行事は、このようなゆったりとした参加型のイベントが多く、皆様の温かい見守りによって成り立っています。子どもたちが作った色とりどりの魚たちのように、一人ひとりが自分らしく育っていけるよう、職員一同これからも精一杯努めてまいります。今年は例年以上に猛暑が長引いておりますので、ご家族の皆さんも体調管理には十分お気をつけて、元気に夏をのりきっていきましょう。

【園からのお知らせ】

・家庭保育協力日 8 月 15 日（金）・16 日（土）はご協力いただきありがとうございます（16 日は休園予定）。なお 8 月 12～14 日も保育体制の調整のため、家庭保育をお願いできる方は、職員までお伝えください。

・クラス担任の配置変更 0 歳児新入園と筒井先生の退職により、角田先生がこすもす、大村先生がそらの担当に変更となります。引き続き職員全員で連携して、よりよい保育を目指してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

・感染症情報 7 月後半から流行が始まっている「ヘルパンギーナ」は、夏かぜの一種で、発熱のほか口内・のどに水泡ができて痛むのが特徴です。他にも夏場の発熱・下痢嘔吐は脱水症状になりやすいので、熱中症とあわせ十分注意しましょう。



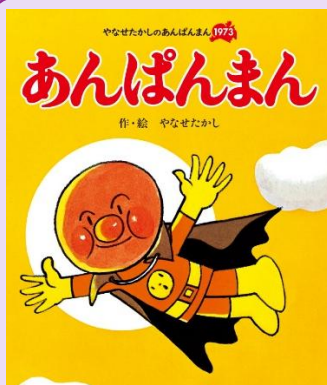
園長コラム アンパンマンは君さ

多くの 012 歳児とその保護者さんにとって、アンパンマンはずっとそばにいてくれる、なくてはならない存在でしょう。作者のやなせたかしさんは、ドラマのモデルにもなり、パートナーの暢さんとともに、改めて話題になっています。美術館「えき」KYOTO で 8 月 24 日まで開催中の「やなせたかし展 人生はよろこばせごっこ」では、やさしくてどこことなく哀愁も漂う、人を楽しませることが大好きな、やなせさんの人柄が伝わってきました。

アンパンマンは本当に不思議なキャラクターで、名前は子どもが最初に覚える言葉の一つになり、誰もがその顔に親しみと安心をおぼえる、唯一無二の存在です。そして不思議なことに、多くの子が 4 歳頃になると「アンパンマン離れ」するという謎の現象も見られます。最初の絵本は、当初は顔を食べさせるという発想が編集者には不評でしたが、子どもたちに受け入れられ、じわじわと人気が出てきたそうです。初期のアンパンマンはボロボロの服を着て、はずかしそうに登場し、自分の顔を食べさせます。それでも「顔は、気楽そうに笑っている」という、ヒーローらしくない主人公でした。丸みのあるかわらしい造形や、2000 種類以上の多彩な登場キャラクターは、子どもたちの反応にあわせて細かく変化しながら、次々に世界が広がってできあがったものでした。

やなせさんは子どもとは何かを真剣に考え、「子どもだまし」ではなく、「正義とは何か」といったメッセージを率直に伝えようと考えたそうです。それは「アンパンマンのマーチ」の有名な一節、「なんのために生まれて なにをして生きるのか こたえられないなんて そんなのはいやだ」や、「アンパンマンたいそう」の「もし自信をなくして くじけそうになったら いいことだけ いいことだけ 思いだせ」などという歌詞にも込められています。アンパンマンは敵をやっつけるだけではなく、お腹を満たしてくれる、喜びを与えてくれるヒーローです。敵役のばいきんまんも、誰もがもっているようないたずら心やずるさで、何度やられても懲りずに挑戦しつづける、どこか憎めない魅力的なキャラクターです。

絵本の発表が 54 歳、アニメ化が 69 歳というのは驚きですが、晩年まで「子どもたちを喜ばせたい」と願い続けたやなせさんの優しさが、あのようなストーリーを育てたのでしょう。若いころに苦労を重ねながら、詩人として「愛と勇気」への希望をメルヘンに表現しつづけたやなせさんだからこそ、子どもたちにもまっすぐに届く作品となったのだと感じます。そんなことに思いをはせながら、これからもアンパンマンを楽しみたいと思います。



今月の一冊 作・絵 やなせたかし
『あんぱんまん』(フレーベル館)

1973 年に発表されたアンパンマンシリーズの原点の一つで、お腹をすかせた人に顔をちぎって食べさせるという、独特なヒーロー像が、子どもたちに人気を博しました。絵柄も中間色で陰影がある独特な味わいがあり、地味ですがじわじわ優しさが伝わってくる作品です。決してかっこよくはないけど人のためになることをする、作者の「正義」観が伝わってきます。